

「警報避難」コース

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	講師名	学 習 目 標
9月14日 (木)	1限目 09：30～10：45	警報避難総論	座学 警報避難対策の基本的な考え方と事前対策を学ぶ。	井ノ口 宗成 (静岡大学)	<ul style="list-style-type: none"> 警報等の伝達及び避難誘導の目的、実施主体と役割について説明できる。 警報等の伝達及び避難勧告等の判断・伝達の流れについて説明できる。
	2限目 11：00～12：15	警報等の種類と内容	座学 警報等の種類と内容、伝達を学ぶ。	高橋 賢一 (気象庁)	<ul style="list-style-type: none"> 注意報と警報、特別警報の意義付けと意味について説明できる。 警報等の入手方法と伝達にかかる主体について説明できる。
	3限目 13：15～14：30	避難勧告等の判断・伝達	座学 避難勧告等の判断と伝達方法について学ぶ。	磯部 良太 (内閣府)	<ul style="list-style-type: none"> 住民等の避難行動の考え方について説明できる。 避難準備情報や避難勧告等の判断に必要な考え方について説明できる。 避難勧告等を住民に伝達し、周知するための伝達方法について説明できる。
	4限目 14：45～16：00	風水害における警報と避難	座学 風水害における警報と避難の実務について学ぶ。	井ノ口 宗成 (静岡大学) 森下 邦治 (福知山市)	<ul style="list-style-type: none"> 風水害における警報と避難の実務について説明できる。 水害時における災害対応の難しさを説明できる。
	5限目 16：15～17：30	風水害におけるタイムライン計画	演習 風水害における警報と避難のタイムライン計画の作成方法について学ぶ。	井ノ口 宗成 (静岡大学) 森下 邦治 (福知山市) 越野 修三 (岩手大学)	<ul style="list-style-type: none"> 風水害における警報と避難のタイムライン計画の作成方法について説明できる。 外部／内部調整をタイムラインで整理する方法を説明できる。
9月15日 (金)	1限目 09：30～10：45	土砂災害における警報と避難	座学 土砂災害における警報と避難の実務について学ぶ。	池谷 浩 (砂防・地すべり技術センター)	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害における警報と避難の実務について説明できる。
	2限目 11：00～12：15	土砂災害の事例に学ぶ	演習 土砂災害の事例から土砂災害における警報と避難について、その実態を演習形式で学ぶ。	井ノ口 宗成 (静岡大学) 越野 修三 (岩手大学)	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害における警報と避難の難しさを説明できる。 土砂災害における警報と避難の決心ポイントを説明できる。 土砂災害における警報と避難にスネークラインを活用できる。
	3限目 13：15～14：30	避難場所・避難所の認定	座学 住民等の避難行動の目的となる避難場所・避難所の種類とその設置要件を学ぶ。	井ノ口 宗成 (静岡大学) 三宅 英知 (京都府)	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所・避難所の種類と内容について説明できる。 避難場所・避難所の認定の方法について説明できる。 風水害で被災した避難所の事例を説明できる。
	4限目 14：45～16：00	避難場所・避難所の適否判断演習	演習 災害ごとに避難場所・避難所の適否判断をするうえでの行動を演習形式で学ぶ。	井ノ口 宗成 (静岡大学) 越野 修三 (岩手大学) 三宅 英知 (京都府)	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所・避難所の適否判断の基本的な考え方について説明できる。 避難場所・避難所の適否判断を適切に行うためのポイントを説明できる。 過去災害を事例とした避難所の適否判断を行う。
	5限目 16：15～17：30	全体討論・閉講	演習 防災力アップのため、警報避難について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考える。	井ノ口 宗成 (静岡大学)	<ul style="list-style-type: none"> 研修受講の目的を再認識する。 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 研修を活かして次につなげることを認識する。